

国際ソロプチミストは(私たちは)、管理職、専門職に就いている女性の世界的組織で、人権と女性の地位を高める奉仕活動をしています。世界125の国と地域に3,000以上のクラブがあり、約9万人の会員が女性のために変化をもたらす奉仕活動を行っています。



SOROPTIMIST

Best for Women

*ロゴマークがわかりました。女性と女兒をサポートする団体のイメージを表しています。

■発行

2010年12月

■発行所

国際ソロプチミスト沖縄

〒900-0015
那覇市久茂地2-10-20-301号

■発行責任者

赤嶺 静子



会長挨拶



認証35周年を迎えた国際ソロプチミスト沖縄の記念すべき年に、会長としての重責を担うことになり、身の引き締まる思いであります。新体制も整い、全会員が心を一つにして活動しようとする意気込みに意を強くし、感謝の気持ちでいっぱいです。

35周年の節目に、「ソロプチミスト日本財団賞・社会ボランティア賞」の「青少年の部」で、当クラブが推薦した沖縄尚学高等学校地域政策研究部が一位に輝きました。11月25日に松山市で開催される財団の年次大会で授賞式が行われます。

これまでの業績を大切に、真摯に奉仕の心を忘れることなく、会員の新たな発想も取り入れ、相互の絆を深めつつ、会員の増員にも努め、魅力あるクラブの発展に繋げていけるよう、会員と共に頑張ってまいります。

会 長	赤嶺 静子	会長エレクト	渡名喜よし子
ヒコアドミン	新城 洋子	ヒコアドミン	喜舎場 直子
トレジャー	宮里 咲子	アシスタント	島袋 恵美子
理 事	石川 美智子	理 事	山内 和子

SOLT 宿泊研修会報告



今期の最大目標はクラブ細則の改正です。

その手始めに、10月14日・15日にホテルコスタピスタ沖縄で行われた1泊研修で、石川副委員長、島袋委員(財務担当)による会費の使途、クラブの財務状況についての説明、委員長による新細則素案に基づく説明、意見交換を行いました。

なお、30周年記念事業として立ち上げた檜の木基金は、別項のとおり順調に育っていますし、青少年育成県民会議に寄贈した青色回転灯付き自動車は、県内各市町村に一ヶ月単位で貸し出され、各地で喜ばれています。

規約決議・SOLT委員会 委員長 大城 光代

今期の財務、資金調達委員会は、SI沖縄の一般会計の資金の乏しさを認識し、二百万円の大きな目標を掲げており、委員一同頑張っております。特に今期はニコニコBOXに期待し=月間7万円=年間84万円"の収入計画をしております。ご協力の程、宜しくお願い致します。

財務、資金調達委員会委員長 普天間 初子



信愛なる友 ハツエさんを偲ぶ

仲村ハツエさんとの出会いは1965年。以来PTA、ライオンズ、ソロプチミストと一緒に友情を育んでまいりました。ご主人を支え、穏やかに公平な人柄は誰からも尊敬されるすばらしい女性でした。70歳を超えやっと引き受けてくれた会長職、地域の女性を導き指導力を発揮してくれました。メンバーシップ委員長として2009年4月15日の日本南リジョン大会では会員拡張の「3メンバーズピン」を受賞されました。16日にハツエさんに、受賞の報告をすると嬉しそうな声で「来期は、赤嶺さんが会長だから引き続きメンバーシップ委員長として頑張りたい」とおっしゃっていました。その3ピンを手にすることなく、あなたは逝ってしまいました。ハツエさんのやさしい声を忘れることはできません。「これからは自分達の時間を楽しもうね」と話したところでのに早すぎる旅立ちにただただ残念でなりません。今、出会いから45年の歳月をしみじみとみかみかしています。ハツエさんの意思を継いでメンバーシップ委員長として会員増強に努めていきたいと願っています。

メンバーシップ委員長 又吉 博子

～御芳志を仲村正治氏より～



8月13日に国際ソロプチミスト沖縄事務局において故仲村ハツエ会員のご遺族から、多大なる御芳志をいただきました。生前の仲村ハツエ会員の活躍へ思いをはせ、会員一同胸をあつくいたしました。ハツエ様の御冥福をお祈りするとともに、御芳志を有効に使わせていただきたいと思います。

クラブ合同研修会開催



2010年9月8日、ホテルコスタピスタ沖縄に於て、SI沖縄、SI石垣、SI沖縄一球の三クラブ合同研修会が開催されました。講師には、水下朝美ガバナー、立花幸枝セクレタリー、中村翠ホードメンバー、そしてバストガバナーの山本絢子ソロプチミスト日本財団理事、坂下政子SIA連盟理事、的野純子ソロプチミスト日本財団常務理事を連え、有意義な研修会となりました。連盟の新キャンペーン「ルネッサンス・キャンペーン2011」WOAの重要性について、クラブギビングキャンペーン等の研修を通じて、クラブとリジョン、クラブ同士のコミュニケーションを緊密にしていけることが出来、原点に立ち戻り、それぞれのクラブが心をひとつにし、活動の充実に向けた取り組みが確認できたのではないのでしょうか。

ソロプチミスト日本財団委員会 委員長 新城 伸子

国際ソロプチミスト沖縄 第35回 認証記念及び奨学金贈呈式・各賞授与式



今年度奨学生の沖縄国際大学の下里理恵さん(左)、大城賢美さん(中)、石引里の先生(右)

沖縄キリスト教学院エンサエティ



沖縄尚学高等学校Sクラブのハンドベル

沖縄尚学高等学校Sクラブメンバー

35回認証記念日に乾杯



ソロプチミスト日本財団社会ボランティア賞で受賞した砂川香月さん

10月25日、ホテルサンパレス球陽館において、第35回認証記念パーティーと奨学金の贈呈及び各賞の授与式が行われました。奨学生は、沖縄国際大学の大成育美さんと下里理恵さん、ソロプチミスト日本財団の社会ボランティア賞に沖縄尚学高等学校地域政策研究部部長の砂川香月さんが代表で受賞しました。沖縄キリスト教学院エンサエティと沖縄尚学高等学校Sクラブへ助成金贈呈後、それぞれの活動報告がありました。ごちそうをいただきながら、なごやかにすめられた懇談会は、玉城節子、喜倉場直子両会員の至芸を堪能し、Sクラブの美しいハンドベルに酔いしれました。会員相互の理解と協力のもと、それぞれの役割を果たし、おかげさまで35回目という節目を記念する感謝、感激あふれる一時をすごすことができました。

奉仕プログラム委員長 砂川 正子

赤い羽根共同募金

11月14日の日曜日に国際通りで、赤い羽根の街頭募金を行いました。不景気風の吹き荒れる中、多くの方がご協力くださいました。



第41回連盟大会参加をおえて



7月7日からサンフランシスコに於いて開催された連盟大会へ南リジョンから60名、SI沖縄は4人が参加しました。デレгатとして何回か、連盟大会に出席して居りますが、今回初めて票数を数えるリモコン機械「キー・パット」で、ドキドキしながら評決に参加しました。ボタンを押すのに遅れたら、票数にカウントされないのが緊張のあまり、会議終了後は肩が痛くこりました。

理事 石川美智子

祝 SI沖縄チャーター会員中村よねさん 瑞宝単光章受賞おめでとうございます。

中村 よねさん(調停委員功勞)

今年秋の叙勲ではSI沖縄のチャーター会員、中村よねさんが調停委員功勞として瑞宝単光章の受章に輝きました。今後共ますますお元気で、私達をご指導下さいませようお願い申し上げます。

4平成22年11月3日
琉球新報掲載

沖縄ベンチャー感謝の集い



去る7月18日、33年間奉仕活動を力強く展開してきた沖縄V.Cの感謝の集いが催されました。会場には卒業生、スポンサークラブのSI沖縄、ベンチャーの支援を受けた各団体の方々に参加し、33年間引き継がれた奉仕活動の功績が優しくねぎらわれました。

治井伸代会長は「ベンチャークラブで学んだ冒險する心・奉仕の精神、そして育んだ友情は私たちの宝です。ベンチャークラブはなくなっても地域社会に関心をもち新しい出発をめざしたい」とあいさつし、会場の惜しめない拍手を受けました。

広報委員 翁長 孝枝

DV被害者自立支援のための檜の木基金収支報告書

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

収入	支出
平成21年度より繰越金	支援 4件 390,000円
基金 1,000,000円	手数料 1件 105円
運用資金 2,582,191円	合計 390,105円
今期募金 189,921円	
返済金 220,000円	※平成22年1号、同3号の方は完済され
銀行利息 412円	差引残 3,602,429円
合計 3,992,534円	

平成22年度後期への繰越金 3,602,429円
募金にご協力くださった方々に感謝申し上げます。

檜の木基金委員会 委員長 大城 光代

青い窓



今回は高良小学校の皆さんの登場です。

トンボ

高良小学校

三年 上原 彰徒

トンボが青い空で
気持ちよさそうに
とんでいる
「フーンフン フーンフン」
飛行機のように
「フーンフン フーンフン」
太陽の光にたかられて
トンボの羽が光っている

クワガタのようちゅう

高良小学校

三年 たるみ てつへい

クワガタのようちゅうは
いつもまるまって
さわってみると
「ぶんぶんぶん」
いきもち
ずつとずつとまるまってつごかない

おたん生日

高良小学校

三年 林 あゆな

たん生日は
一年に一回の
かみさまからとしを一寸多くもらえる日
プレゼントをもらえる日
ケーキを食べられる日
こんないい日はない！
みんな、たん生日を楽しみにまわっている！
早くこないかな。たん生日

ざつ草の生きる力

高良小学校

三年 上原 かおん

はたけには、ざつ草がおにいだ
野草いがとれた後は
ざつ草がいきいき育つ
道にも、ざつ草は生える
歩道にもいろいろな草が生える
だから、道にもざつ草はおにいだ
校庭のすみにも、ざつ草は生える
ざつ草はどこでも生えるから
ざつ草の生きる力はすごい

サンタがくる日

高良小学校

三年 のはら 大

十二月二十五日には、サンタがくる日
だから、すぐねて
サンタのゆめをみて
弟とつづいた
「のの年もきてね」
「のの年もきてね」
と、言いつて朝がくる

登場してもらった
高良小学校のよい子
たち、長嶺美佐子校長
先生・担任の先生方、
ご協力ありがとうございました。

活動報告

—アメリジアンスクールへ 10 回目の助成会—



11月2日、アメリジアンスクールへ健康診断助成金贈呈を行いました。「多くの方々のご理解とご協力のおかげで、77名という在籍になりました。こどもたちの健康づくりに役立たせたい。」と校長先生のお礼のことばでした。

—アメンボキャンプ便り—



8月18日に、糸満青年の家で、「アメンボキャンプ」が行われ、SI 沖縄では、今年も参加協力致しました。YMCA 主催の身障児のためのキャンプ「アメンボキャンプ」は総勢 134 人という盛会で、SI 沖縄の提供したバーベキューは、大人気でした。

広報委員長 新垣 恵美子 / 翁長 孝枝 / 宮里 美恵 / 与儀 啓子

「青い窓」創設者

故本名善兵衛さま・故佐藤浩先生へ

創業百五十年の老舗、薄皮饅頭の柏屋さんの窓が「青い窓」として、子ども達の詩で飾られるようになったのは、昭和三十三年五月五日の日でした。店の二階は、地域の方々との交流の場で、子ども達の思い出話で賑わってありました。「今の子とも達が成人した時、僕達みたいに、胸はずませて語るころがあるだろうか。都市化が進み、子ども達が仲間を遊ぶ姿を見かけなくなりました。私達の沖縄の状況と全く重なります。店の窓を子ども達の夢で飾ろうと、「子ども達の詩で飾る」ことになったと

言います。「青い窓」はこうして誕生し、中村よね会員のご尽力で、沖縄にやってきました。子ども達の新鮮な発想と意外な視点、好評の「青い窓」の詩は優しさや感性、そしてクリエイティブな発想を育てます。今後またやさず続けて行きたいものです。善兵衛さま、佐藤先生の人のとなりやエピソードが沢山の方々から寄せられており、改めて偉大なお二人の業績を思い、心からご冥福をお祈り申し上げます(合掌)

コヒサチ・マシキ・シロ / 喜舎場直子